

一緒に学び、 共に育つこと(共育)が 教員の魅力

皆さんは学校の先生にどんな印象を持っていますか？あまり良い印象を持っている人はいないのではないかと思います。私も学生時代はほとんどの先生に良い印象を持っていませんでした。「だったら自分が教員になってその印象を変えてやる!」と決意し、教員になりました。

教員になった今、授業や部活動、学校行事等を通じて、生徒と一緒に活動することが楽しいです。あるとき先輩教員から「1年目と変わったな。生徒はちゃんと先生の背中を見て育ってるぞ。これからの成長が楽しみだな」と言われ、とてもうれしく思いました。また2011年の東日本大震災では学校で被災し、大変な時期を過ごしました。普通の事がとても有り難く、生徒と一緒に活動したりすることがこんなにも大切な時間であり、生徒が色々な事を吸収し、成長し続けていることを再確認しました。

人の成長に関わる仕事は教員しかできないことです。それには責任が伴い、苦勞も多いです。しかし、生徒と一緒に活動したり、感情を共有したりすることはとても楽しいことです。知識は一生のうちで習得できますが、感情を共有することは体験した人同士、その一瞬一瞬でしか味わうことができません。それを感じ取ること、導いていくこと、生徒を信頼すること、共に育っていくことが教員として一番の魅力です。



Person 06

宮城県南郷高等学校 教諭

高橋 謙人

Kento Takahashi

- 2007年 生涯教育総合課程(L課程)
自然環境コース 情報数理専攻 卒業

